



NBRP-nenkin news_No. 19

2026/9/18

発行：NBRP細胞性粘菌

Top news

第5期NBRP事業も最終年度です

2022年度4月から第5期NBRP事業がスタートして5年目最終年度となりました。ユーザーの方々の積極的な協力により、順調に事業を運営することができており感謝しております。今期は残り半年ですが、引き続きユーザーの皆様のご支援が細胞性粘菌NBRPの原動力になりますので、より一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。第5期におきましては、一層のリソースの充実のみならず、ユーザーやコミュニティといった日本の細胞性粘菌研究の厚みを増すことを目標を掲げていました。新規ユーザーの取り込みに力を入れてきました。若手の新規ユーザーや企業の方からの利用や要望、問い合わせが多数あり、細胞性粘菌が研究や社会で使えるリソースとして認識されつつあると感じると同時に、NBRPから提供したリソースが確実に成果学術論文に結びついております。今期は残り短い期間ではありますが、NBRP細胞性粘菌にご意見、方策、アイディアがありましたら些細なことでも結構ですのでお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。また引き続き、ユーザーの皆様方も細胞性粘菌の研究リソースとしての良さをそれぞれの持ち場・立場で宣伝していただき、細胞性粘菌リソースの有効活用・コミュニティの拡大にご協力していただき、細胞性粘菌を研究リソースのスタンダードの一つとして押し上げられればと考えています。毎回お知らせしておりますが、第5期残りの期間におきましても、XとFacebookを立ち上げましたが、有用情報はこれらのSNSを利用し情報共有を継続していきたいと考えております。

今後も継続的な細胞性粘菌リソースの収集・保存・提供を確実に進め、これまで好評であった対面式のトレーニングコース・オンデマンドトレーニングコースを継続し、NBRP細胞性粘菌の利便性を向上できるよう努力してまいります。皆様にも開発されたリソースの寄託、新規ユーザーの開拓へのご協力をお願いいたします。

(代表機関：筑波大学)



X



FaceBook

Resource updates

引き続きCRISPR/Casベクターが寄託されています。野生株の種同定進む！

引き続き東邦大学 村本博士によりCRISPR技術を用いた様々なゲノム編集ベクターが寄託されています。これらは国際的にも提供依頼が多く世界中で利用されています。また、蛍光タンパク質遺伝子を融合させた発現ベクターも順次寄託されております。

積極的にご活用ください。

裏面に続く

野外採取株を多数取り揃えています！

有用化合物の新たなリソースとして細胞性粘菌が注目されています。これまでに多くの研究者から細胞性粘菌の野外採取株が寄託されています。今年度はrDNA配列を解析した種同定を積極的に進めております。詳しい情報は順次公開しています。“natural isolate”でNBRP細胞性粘菌ホームページの「株リソース」を検索ください。皆様の研究に是非お役立てください。

News Digest

株リソース、遺伝子リソース共に、NBRP細胞性粘菌ホームページを通じてオーダーできます！

<http://nenkin.nbrp.jp>



皆様の研究室で開発された株、遺伝子リソースの寄託を受け付けています。一度、NBRP-nenkinに寄託していただければ、当方で保存や利用希望者への分与を行います。是非、皆様の貴重なリソースをコミュニティで共有し、研究に役立てましょう。

また、「収集して欲しいリソース」を皆様から募集しています。どんどん、下記のメールまでご連絡ください。

nbrpnenkin@shigen.info

NBRP細胞性粘菌 オンデマンドトレーニングコース開催中

日程：NBRP実施機関と調整 適宜開催 開催場所：筑波大学・生物農林学系棟内

応募・問い合わせ先：筑波大学生命環境系 桑山 秀一

TEL：029-853-4664 e-mail: nbrpnenkin@shigen.info

皆様の都合のつく日時にNBRP細胞性粘菌実施機関（筑波大学）に来ていただき、必要な研究手法のトレーニングを致します。

ご希望の方は、所属、氏名、連絡先（メールアドレス）、希望される日時とトレーニング（実験）内容をご記入の上、上記のメールアドレスまでご連絡ください。

第15回日本細胞性粘菌学会例会（ワークショップ開催）

2026年10月24日 千葉工科大学

NBRP事業について：桑山 秀一（筑波大学）

NBRPゾウリムシ：度会 雅久（山口大学）

度会先生は獣医公衆衛生学研究室で長年細胞内寄生と宿主細胞との相互作用をご研究されております。現在はNBRPゾウリムシ中核機関の代表としてゾウリムシリソースの収集・保存・提供にもご尽力されております。本ワークショップでは、本講演では、ご自身のこれまでの研究内容とゾウリムシバイオリソース活動、今後の研究展開についてのご講演をしていただきます。

第49回日本分子生物学会年会（実物展示予定）

2025年12月1日～4日 パシフィコ横浜

日本分子生物学会でNBRP主催の実物展示を予定しています。お近くの研究者的の方々に周知をしていただけますと幸いです。